

平成 22 年 度

水道事業統計年報

平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日

いわき市水道局

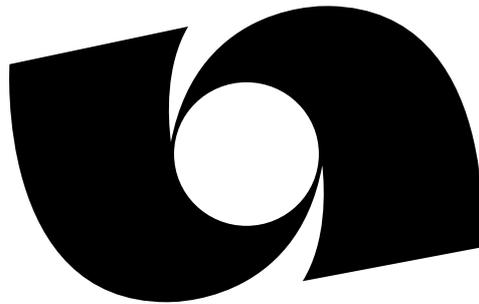
統計早見表

(平成23年3月31日現在)

項 目	平成22年度	平成21年度	平成20年度
行政区域内人口 (人)	339,277	343,008	345,516
給水区域内人口 (人)	330,063	333,589	335,788
給水人口 (人)	328,941	332,402	334,512
給水区域内普及率 (%)	99.66	99.64	99.62
給水戸数 (戸)	124,839	129,707	128,666
給水件数 (件)	134,436	133,955	133,588
浄水施設 (箇所)	17	17	18
配水池 (基・池)	111・159	110・157	111・159
ポンプ場 (箇所・台)	86・193	85・191	89・197
年間配水量 (m ³)	43,637,934	43,770,022	44,357,498
一日平均配水量 (m ³)	119,556	119,918	121,527
年間有効水量 (m ³)	39,983,086	39,747,767	40,739,828
有効率 (%)	91.62	90.81	91.84
年間有効収水量 (m ³)	38,790,664	38,558,406	39,612,630
有効率 (%)	88.89	88.09	89.30
導水管延長 (m)	16,700	16,673	16,823
送水管延長 (m)	21,979	21,979	21,979
配水管延長 (m)	2,163,223	2,152,659	2,137,086
●収益の収支(消費税込み)			
収益的收入 (千円)	9,368,885	9,340,138	9,625,185
収益の支出 (千円)	7,640,763	7,444,367	7,748,709
●資本の収支(消費税込み)			
資本的收入 (千円)	1,005,406	1,336,002	2,843,406
資本的支出 (千円)	4,990,932	5,243,767	7,236,977
供給原価 (円)	217.73	217.87	218.08
給水原価 (円)	182.53	185.01	188.20
職員数 (人)	194(8) ※管理者及び嘱託職員(1人)含む。 ※()は内数で再任用短時間勤務職員数をあらわす。	194(4) ※管理者及び嘱託職員(2人)含む。 ※()は内数で再任用短時間勤務職員数をあらわす。	191 ※管理者及び嘱託職員(2人)含む。

平成 22 年 度

水道事業統計年報



市 章

いわき市の頭文字「い」を図案化したもので、市の発展と融和団結
円満、平和を表徴したものです。
(昭和42年10月1日制定)

いわき市民憲章

わたくしたちいわき市民は、

- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、明るいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化のまちをつくりましょう。
- 1 自然を愛し、緑のまちをつくりましょう。

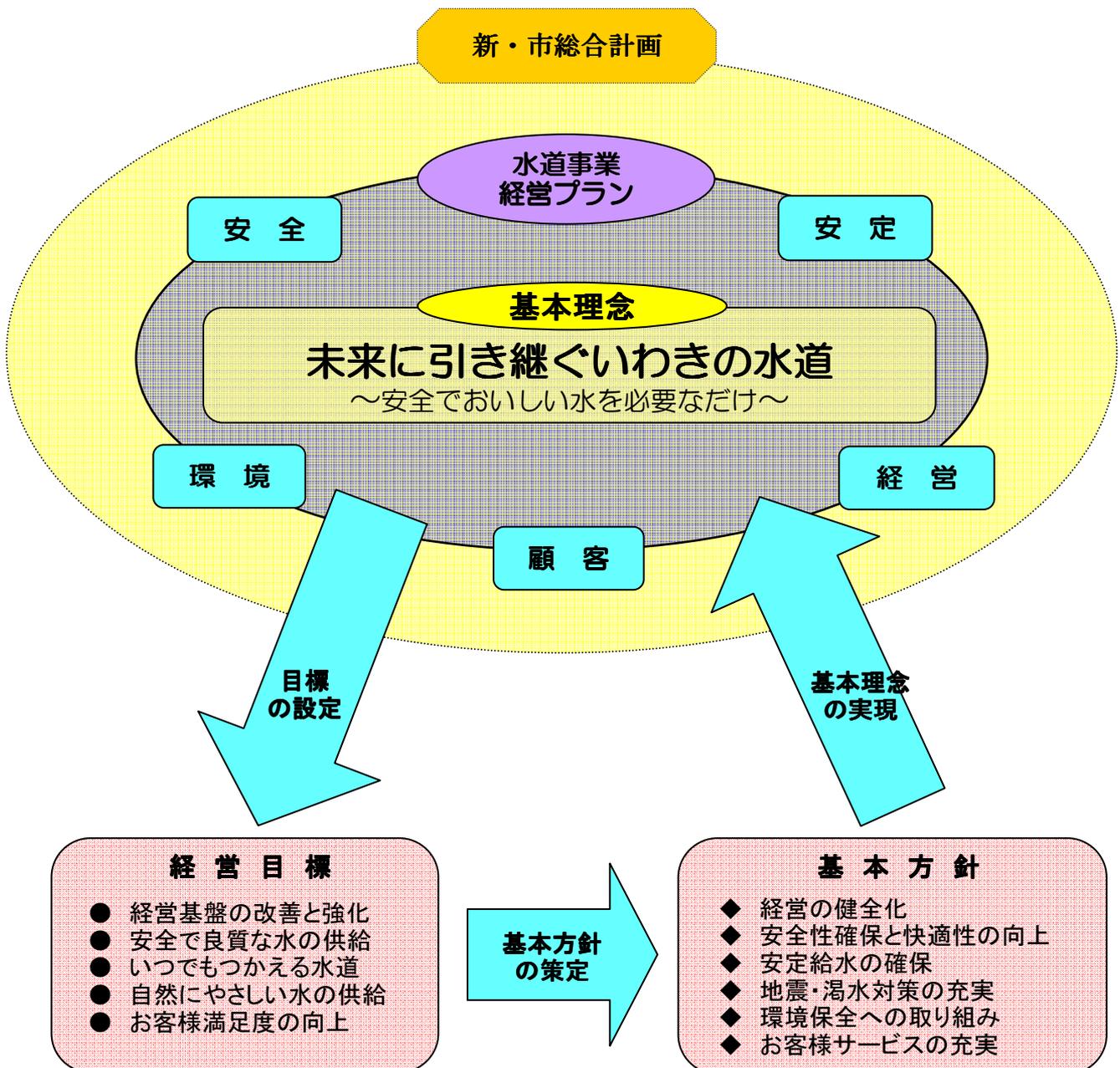
昭和51年10月1日制定

いわき市水道事業の経営の目標

本市では、「新・いわき市総合計画『ふるさと・いわき21プラン』」において「循環を基調とした、持続可能なまち」「誰もが安全に、安心して暮らせるまち」「活力に満ち、創造力あふれるまち」を、めざしていく「いわきの姿」として事業を展開しています。

これを踏まえ、本市水道事業を取り巻く諸課題等に適切に対応し、次世代に健全な姿で「水道」を引き継いでいくため、経営目標を「経営、安全、安定、環境、顧客」の視点で捉え、「未来に引き継ぐいわきの水道 ～安全でおいしい水を必要なだけ～」を基本理念と決めました。

この理念を実現するため、5項目の経営目標を掲げ、今後の水道事業の取り組むべき具体的な方針として6項目の基本方針を策定しました。



平成22年度水道事業統計年報

目 次

I 事業の沿革と推移

1	いわき市の概況	1
2	水道事業の沿革	1
(1)	合併当時の水道事業	1
(2)	いわき市上水道の創設事業	2
(3)	専用水道統合事業	3
(4)	いわき市上水道第一期拡張事業	4
(5)	いわき市上水道第二期拡張事業	5
(6)	いわき市上水道第三期拡張事業	5
(7)	いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更	6
<参考>	水道事業認可一覧	7
3	水道事業の推移	8
(グラフ)	人口及び水量の推移	12
(付)	いわき市水道事業概況図	

II 機構及び職制

1	機 構	13
(1)	組織図	13
(2)	機構改革の推移	13
(3)	職員配置表	14
2	職 制	15
(1)	分掌事務	15
3	職員の給与に関する調	18
4	年齢及び勤続年数別職員構成	18
(1)	年齢別職員構成	18
(2)	勤続年数別職員構成	18
<参考>	平成23年度機構及び職制	19
(1)	組織図	19
(2)	職員配置表	20
(3)	年齢別職員構成	21
(4)	勤続年数別職員構成	21

III 本年度の主なる事務事業

1	いわき市水道事業第三期拡張事業	22
(1)	事業概要	22
(2)	事業費及び財源	22
(3)	平成22年度事業内訳	23

2	第四次配水管整備事業	24
(1)	事業概要	24
(2)	事業費及び財源	24
(3)	平成22年度事業内訳	24
3	東日本大震災復旧事業	25
(1)	事業概要	25
4	いわき市水道事業経営審議会	26
(1)	第12次いわき市水道事業経営審議会から答申	26
(2)	第13次いわき市水道事業経営審議会への諮問	29
5	いわき市水道水源保護審議会	30
(1)	第9期いわき市水道水源保護審議会への諮問	30

IV 施 設

1	取水施設	31
2	上水道施設	32
(1)	浄水施設	32
(2)	配水池	36
(3)	ポンプ場	44
3	簡易水道施設	52
(1)	浄水施設	53
(2)	配水池	56
(3)	ポンプ場	56
4	災害時応急給水施設	58
(1)	非常用地下貯水槽設置箇所	58
(2)	災害時用応急器材	59
5	配水管布設延長	60
6	口径別管種別管路布設延長	61
<参考>	いわき市水道水源保護地域	62

V 取水・配水

1	取水量	63
2	薬品使用量	64
3	施設別配水量・使用電力量	65
4	配水量	66
5	配水量分析	68
6	漏水防止	72
(1)	漏水防止総括	72
(2)	漏水修理件数	72
7	断減水の状況	73
8	水質試験成績表	74
(グラフ)	月別配水量の推移	78
(グラフ)	配水量分析	78

VI 営 業

1	給水普及の状況	79
2	口径別給水件数・有収水量	80
3	月別・口径別有収水量	82
4	メーター検針	84
5	業務委託の状況	86
6	窓口受付事務取扱件数	88
7	徴収の方法	89
8	調定件数と収入件数	90
9	滞納整理の状況	90
10	調定の状況	91
(1)	基本料金	92
(2)	水量料金	94
(3)	給水加入金	96
11	給水加入金の推移	97
12	水道料金の推移	98
(グラフ)	口径別給水件数及び有収水量	102
(グラフ)	水道料金の推移	102
<参考>	水道料金コンビニエンス・ストア収納関係	103
(1)	収納月別件数	103
(2)	収納時間別件数	103
(グラフ)	水道料金コンビニエンス・ストア収納月別件数	104
(グラフ)	水道料金コンビニエンス・ストア収納時間別件数	104

VII メーター・給水装置工事・修繕工事

1	メーターの状況	105
(1)	メーターの設置及び取替	105
(2)	メーター貸付個数	105
(3)	満期メーター取替委託	106
2	給水装置工事の状況	107
(1)	給水装置工事	107
(2)	指定給水装置工事事業者調	107
(3)	給水装置工事主任技術者調	107
3	修繕工事の状況	108
(1)	給水装置修繕工事	108
(2)	配水施設等修繕工事	110
(グラフ)	給水装置修繕工事の状況	112
(グラフ)	配水施設等修繕工事の状況	112

Ⅷ 財 政

1	収益的収支	113
2	資本的収支	114
3	水量1 m ³ 当たり給水原価・供給単価比較	115
4	貸借対照表	116
5	人件費に関する調	118
6	経営分析表	120
(1)	資産及び資本に関する比率	120
(2)	回転率	122
(3)	損益に関する比率	124
(4)	経営指標	126
(グラフ)	給水原価に占める性質別費用の割合	130
(グラフ)	経営分析表	130

Ⅷ 広 報

1	広報実績	131
2	主なる広報の掲載内容	133
<参考>	平成22年度発行 水道局広報紙「すいどういわき」	136

Ⅹ 参 考

1	水道事業ガイドラインにおける業務指標（P I）	137
2	気象観測データ	144
(1)	地区別・月別気象状況	144
(グラフ)	月別気象状況と配水量	144
(2)	月別降水量の推移	145
(グラフ)	月別降水量の推移	146
(グラフ)	年間降水量の推移	146
3	水道基本用語解説	147

事業の沿革と推移

- 1 いわき市の概況（P 1）
- 2 水道事業の沿革（P 1）
 - (1) 合併当時の水道事業（P 1）
 - (2) いわき市上水道の創設事業（P 2）
 - (3) 専用水道統合事業（P 3）
 - (4) いわき市上水道第一期拡張事業（P 4）
 - (5) いわき市上水道第二期拡張事業（P 5）
 - (6) いわき市上水道第三期拡張事業（P 5）
 - (7) いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更（P 6）
- <参考> 水道事業認可一覧（P 7）
- 3 水道事業の推移（P 8）
 - (グラフ) 人口及び水量の推移（P 12）
 - (付) いわき市水道事業概況図

市の木 くろまつ（昭和46年10月1日制定）



市制施行5周年を記念して制定されました。

当地方の気候は、松の育ちに適しており、海岸線・浜街道の松並木はひろく知られています。

松は百木の長といわれ、成長力が強く、本市の発展を象徴しています。

いわきの水道のあゆみ

大正10年	平町で給水をはじめ
昭和8年	湯本町で給水をはじめ
昭和11年	江名町で給水をはじめ
昭和12年	四倉町で給水をはじめ
昭和17年	小名浜町で給水をはじめ
昭和28年	内郷町で給水をはじめ
昭和29年	勿来町で給水をはじめ
昭和41年	小川町で給水をはじめ
〃	いわき市（いわき市水道部）誕生
昭和44年	事業認可
昭和47年	水道施設の統合工事完成
〃	第一期拡張事業着手
昭和48年	水道部を水道局に変更
昭和49年	平浄水場完成
昭和51年	栗木作地滑り災害（10/19）
〃	上遠野簡易水道拡張統合工事完成
昭和52年	田人簡易水道拡張工事完成
〃	山玉浄水場完成
昭和53年	第一次配水管整備事業着手
昭和54年	水道局本庁舎完成
昭和57年	第二期拡張事業着手
昭和58年	四時ダム完成
昭和60年	非常用地下貯水槽設置
昭和61年	「いわきの清流10選」選定
〃	第二次配水管整備事業着手
〃	公共下水道使用料及び地域汚水処理施設使用料同時徴収事務開始
昭和62年	上野原浄水場拡張工事完成
平成3年	第三次配水管整備事業着手
平成4年	第三期拡張事業着手
〃	水道料金収納事務自動化
〃	「いわき市水道水源保護条例」制定
平成5年	遠野簡易水道統合事業着手
〃	薬王寺簡易水道（袖玉山民営簡易水道含む）上水道への統合
平成8年	北茨城市と相互応援協定締結
平成9年	平浄水場拡張工事完成
〃	常磐地内土砂流出災害（5/25）
〃	小玉ダム完成
平成10年	コンビニエンス・ストア料金収納開始（6/1）
〃	常磐配水池代替施設完成
〃	遠野簡易水道統合事業完成
平成11年	志座配水場完成
平成12年	財務会計システム稼動開始
平成15年	第四次配水管整備事業着手
平成16年	コンビニエンス・ストア料金収納拡大（8/1）
〃	福岡簡易水道上水道統合事業着手
平成17年	福岡簡易水道上水道統合事業完成
平成18年	第三期拡張事業軽微変更申請
平成19年	5営業所廃止、2工事事務所新設
〃	佐倉簡易水道上水道統合事業着手
平成20年	佐倉簡易水道上水道統合事業完成

I 事業の沿革と推移

1 いわき市の概況

本県（福島県）の地勢は、奥羽山脈西側の会津地方と阿武隈川流域の中通り地方、太平洋岸の浜通り地方の3つに分かれており、本市はこの浜通り地方の最南端にある。気候は海洋性気候のため温暖で、年間平均気温13.7℃程度にあり、降雪もほとんどなく雨量は年間降水量1,746.0mmと県内では比較的豊富なほうで、多目的ダムや工業用水に利用している鮫川、県立公園の夏井川など11水系64の二級河川がある。

本市は、昭和41年10月1日、14市町村の合併により発足した広域都市で、東西39.0km、南北51.5km、面積は1,231.35km²あり、南は茨城県との県境に接し、常磐自動車道・JR常磐線・国道6号で関東地方に通じ、経済・文化両面で関東地方の影響を大きく受けている。

（合併市町村）

平市、磐城市、勿来市、常磐市、内郷市、石城郡四倉町、遠野町、小川町、三和村、好間村、川前村、田人村、双葉郡久之浜町、大久村の5市4町5村。

2 水道事業の沿革

(1) 合併当時の水道事業

昭和41年10月1日、いわき市発足に伴い旧市町村から引き継がれた水道は、大正6年3月に創設された平上水道をはじめとし、合併直前に磐城上水道からの分水により新設された鹿島簡易水道を含め上水道9事業、簡易水道19事業の計28事業があり、総配水能力は93,546m³/日、給水人口242,590人であったが、昭和44年2月に施設統合認可を得るまでの間それぞれ独立した事業として運営されてきた。

うち旧平市、旧磐城市においては、合併前からそれぞれ拡張工事計画に着手しており（平上水道第四次拡張事業＝計画給水人口82,000人、計画1日最大給水量32,800m³/日、昭和43年度～昭和45年度：磐城上水道第四次拡張事業＝計画給水人口68,000人、計画1日最大給水量25,160m³/日、昭和43年度～昭和44年度）、これらの事業は新市発足後において引続き施行することとして、いわき市に引き継がれた。

合併により新市に引き継がれた時点での各事業の規模は、次のとおりである。

（上水道事業）

区 分	認 可 年 月 日	計画給水人口	計画1日最大配水量
平 上水道	大正6年3月9日	60,000人	21,000 m ³
磐 城 〃	昭和9年7月25日	60,000	22,200
勿 来 〃	昭和24年2月14日	55,000	19,000
常 磐 〃	昭和6年2月26日	39,200	10,200
内 郷 〃	昭和25年12月26日	46,700	8,400
四 倉 〃	昭和11年9月10日	12,000	3,600
久之浜 〃	昭和26年3月12日	6,500	1,950
小 川 〃	昭和38年12月28日	9,000	1,463
好 間 〃	昭和40年12月14日	5,700	1,710
計（9事業）		294,100	89,523

(簡易水道事業)

区分	事業名	認可年月日	計画給水人口	計画1日最大配水量
平	平窪簡易水道	昭和29年3月20日	800人	120 m ³
	赤井	昭和33年9月26日	3,800	596
	草野	昭和35年8月30日	5,000	750
勿来	山田	昭和29年10月29日	4,000	600
	法田	昭和36年7月31日	1,600	240
	佐倉	昭和41年9月30日	110	16.5
常磐	鹿島	昭和41年3月19日	730	109
四倉	山田小湊	昭和30年9月28日	200	30
	白岩	昭和33年10月23日	210	31
小川	高崎	昭和32年9月3日	300	45
	福岡	昭和35年10月12日	300	45
好間	北好間	昭和38年10月17日	2,670	426
	上好間	昭和39年6月30日	480	72
遠野	深山田	昭和30年3月30日	300	45
	上遠野	昭和35年7月14日	2,200	330
	下滝	昭和38年10月1日	540	81
	根岸	昭和41年6月6日	600	90
田人	田人	昭和32年9月15日	1,100	300
川前	川前	昭和38年7月30日	800	210
計(19事業)			25,740	4,136.5

(合計)

区分	設置数	計画給水人口	計画1日最大配水量
上水道事業	9	294,100人	89,523.0 m ³
簡易水道事業	19	25,740	4,136.5
計	28	319,840	93,659.5

(2) いわき市上水道の創設事業

昭和41年10月1日のいわき市発足と同時に、合併の申し合わせによる財政経過措置期間が昭和43年度末までの2年6か月にわたり設定されたことにより、新市に引き継がれた上水道及び簡易水道は、同期間中それぞれ旧市町村ごとの区分により独立採算で経営されたが、当時の水道施設の状況は、施設能力が夏季需要期には限界に達し、常時減圧や断水を生じていた地区や水源難のため施設拡張のできない地区等、給水事情の改善が急務であった。

このため、昭和43年度末の財政経過措置期間切れを目前にして、一市一事業の観点にたち、特に遠隔の地に点在する11の簡易水道を除く9上水道・8簡易水道を配水管の接続により廃止統合して有機的な一事業とし、「いわき市上水道事業」としての一元化を図ることとなった。

この「いわき市上水道」の創設事業は、昭和44年2月15日に厚生大臣の認可を得、当初昭和44年度から2か年継続事業で施行された後、継続年期を1年間延長し3か年継続事業により施行、昭和46年度末に完了した。また、本事業の前から施行していた平第四次拡張工事及び磐城第四次拡張工事もこれと並行して施行された。

いわき市上水道の創設事業は、各上水道、簡易水道の水系間を配水管で接続することにより既設能力を最大限に活用して水利の地域別再配分を行い、また、費用の節減、水道料金の統一など事業の合理化を図るもので、事業の基本計画は、各水道ごとに異なる1人1日当たり給水量を地域の実情に応じて調整した結果、次のように設定された。

なお、統合に伴い廃止された事業は、次表に掲げるとおりである。

計画給水人口 277,000 人
 目標年次 昭和47年度
 1人1日最大給水量 370 ℓ
 1日最大給水量 102,490 m³
 1日平均給水量 88,640 m³



区 分	統合に伴い廃止された事業	
平	平 上水道	平 窪 簡易水道 赤 井 〃 草 野 〃
磐 城	磐 城 〃	
勿 来	勿 来 〃	山 田 〃 法 田 〃
常 磐	常 磐 〃	鹿 島 〃
内 郷	内 郷 〃	
四 倉	四 倉 〃	
久之浜	久之浜 〃	
小 川	小 川 〃	
好 間	好 間 〃	北好間 〃 上好間 〃
計	9 上水道	8 簡易水道

(3) 専用水道統合事業

昭和17年10月、古河好間炭鉱専用水道を布設し、以来、炭鉱地区の住宅用水及び鉱業用水の給水を行っていた古河好間炭鉱が昭和45年2月閉山となり、同専用水道が廃止されることとなった。

この専用水道の給水区域は市上水道の給水区域に隣接しており、閉山に際し古河好間炭鉱から市に対し施設の移管について申し入れがあったことから、市は同炭鉱の保有する水利権 1,586m³/日の譲渡を受け、昭和45年9月5日厚生大臣の認可を得てこれを市上水道の給水区域に編入し、閉山炭鉱施設整備事業として国庫補助による整備を行った。

事業の内容は次のとおりである。

計画給水人口	280,000 人	増加 3,000 人
目標年次	昭和47年度	
1人1日最大給水量	367.6 ℓ	増加した計画給水人口3,000 人の 1人1日最大給水量は 150 ℓ
1日最大給水量	102,940 m ³	増加 450 m ³
1日平均給水量	88,940 m ³	増加 300 m ³

(4) いわき市上水道第一期拡張事業

17事業の廃止統合により創設された本市上水道は、水源24か所、浄水場13か所、浄水施設19か所と施設が多く、その態様も多種多様で維持管理が困難なうえ、施設の老朽化、水源水質の悪化等が進み、また、施設統合後も依然として給水能力が需要に対し不足し、地域的な需給調整が困難であるなど拡張工事の必要に迫られていた。

他方、施設拡張を前提としての水道水源の確保については、合併前から様々な努力が重ねられてきたが、国の農業施策が転用促進に転換したことでかんがい用水と水利の調整が急展開し、また、県営四時ダムが多目的ダムとしての実施計画に入ったことなどから、その確保の見通しがついた。

これにより、将来における都市基盤整備のための拡張工事を併せて施行する計画を立て、その水源を夏井川表流水36,000 m^3 /日、四時川表流水19,200 m^3 /日、四時ダム35,200 m^3 /日（計90,400 m^3 /日）に求め、既設施設の改修を併せ94,400 m^3 /日の施設の新規拡張を図るため、昭和47年3月29日に厚生大臣の認可を得、昭和47年4月、事業に着手した。

その後、四時ダムのダム型式変更により35,200 m^3 /日が15,000 m^3 /日に減ったことから減水量20,200 m^3 /日の代替水源を法田第2ポンプ場（浅井戸）20,000 m^3 /日に求めることとして全体計画を見直し、昭和52年11月26日厚生大臣の変更認可を得て、昭和47年度から昭和58年度までの12か年継続事業とした。

事業の内容は、夏井川水系において平浄水場40,000 m^3 /日、鮫川水系四時川において山玉浄水場45,000 m^3 /日、法田第2ポンプ場20,000 m^3 /日、計105,000 m^3 /日の浄水施設を拡張し、取水量低下のため改造が迫られていた鎌田山浄水場（人工伏流水取水方式）15,000 m^3 /日を平浄水場に廃止統合、同一水系を集結して将来の維持管理体制の強化を図るため、鮫川水系を水源とする埜浄水場3,000 m^3 /日と志座浄水場3,600 m^3 /日を泉浄水場に廃止統合するほか、4か所の小規模施設を廃止統合するものである。

この浄水施設の築造に伴い、勿来配水池（容量8,000 m^3 ）外3か所の基幹配水池を築造するほか、特に給水区域が広大なため、調整の役割をなす大剣配水池（容量4,000 m^3 ）外6か所を築造、計34,851 m^3 の容量を増加し、また配水管網は、配水池を起点として、内径800mm以下補助管75mmまで延長173,197mを布設し、市内一円に給水を図るものである。

なお、本工事は昭和56年度で打ち切り、一部残工事を第二期拡張事業に引き継いだ。

計画給水人口	350,000 人
目標年次	昭和60年度
1人1日最大給水量	526 ℓ
1日最大給水量	184,000 m^3
1日平均給水量	153,300 m^3

(5) いわき市上水道第二期拡張事業

本事業は、常磐炭専用水道の廃止統合に伴い譲り受けた水利権29,824m³/日（鮫川水系17,815m³/日、夏井川水系12,009m³/日）、四時地区農業用水合理化対策事業への参加により確保した上水道用水11,900m³/日など、新たな水源をもとに既認可全体計画の見直しを行い、将来の水需要に対処するものである。

平成2年度を目標に、基幹3浄水場（平、山玉、上野原）を増設・拡張するとともに、高坂、上好間などの小規模浄水場を廃止統合して水処理の効率化を促進し、併せて上水道に隣接する水源水量不足の大利、高崎簡易水道を上水道に廃止統合して水道事業の有機的な運営を図るため、昭和57年1月12日厚生大臣の変更認可を得、第一期拡張事業の残工事を引継ぎ、昭和57年度から9か年継続事業で進めていたが、その後、給水人口、給水量の伸びが微増傾向にあることから事業実施面で水需要の実態に即した事業計画が求められ、昭和61年度において、目標年度を平成7年度に延長し、14か年の継続事業に変更した。

その後、さらに新たな見直しが必要となり、本工事は平成3年度で打ち切り、一部残工事を第三期拡張事業に引き継いだ。

計画給水人口	374,000 人
目標年次	平成7年度
1人1日最大給水量	576 ℓ
1日最大給水量	215,260 m ³
1日平均給水量	164,661 m ³

(6) いわき市上水道第三期拡張事業

本事業は、第二期拡張事業の認可取得後、昭和63年に常磐自動車道が開通し、首都圏との時間的距離が短縮され企業立地やリゾート開発等が進み、また、生活環境等も変化してきたことから、給水区域の拡張、給水量の増加、水源の種別及び取水地点の変更を行い、将来の水需要に対処するものである。

平成18年度を目標に、平浄水場、山玉浄水場等の拡張を行い、藤原浄水場、福岡浄水場などの小規模浄水場を廃止して効率化を促進するとともに、上水道に隣接する薬王寺、福岡、袖玉山（民営）簡易水道を上水道に廃止統合して水道事業の有機的な運営を図り、併せて給水区域を拡張し高野、瀬戸地区の未給水解消を行い、また、施設基準の変更に伴う配水池の新設、増設を行うものである。

事業内容は次のとおり。

認可年月日	平成4年3月31日
計画給水人口	374,000 人
目標年次	平成18年度
1人1日最大給水量	619 ℓ
1日最大給水量	231,610 m ³
1日平均給水量	185,798 m ³
計画給水区域面積	445.80 km ²

(7) いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更

第三期拡張事業は、施設拡張から安定給水の確保に重点を置き、事業を実施しているが、以前より、給水区域内の未給水地区から給水要望があった佐倉簡易水道事業の上水道事業への統合に伴い、給水区域が拡張されることから、平成13年度の水道法の一部改正を受け、本事業に係る給水区域の拡張のみの「軽微変更」として事業内容を変更するものである。

また、平成4年3月の認可取得から15年を経過し、人口減少等により給水量に係る計画値と実績値の乖離が進んでおり、計画値を実態に即したものとすること、代替施設が整備され、休止状況にある小規模浄水場及び水利権を廃止する必要があることから、軽微変更の条件には該当しないものの、上水道事業の給水区域の拡張と併せて変更を行うものである。

変更内容は次のとおり。

ア 計画諸元

受理年月日	平成19年3月28日
計画給水区域内人口	338,631 人
計画給水人口	338,000 人
目標年次	平成33年度
1人1日最大給水量	488 ℓ
1日最大給水量	165,000 m ³
1日平均給水量	132,696 m ³
計画給水区域面積	447.96 km ²

イ 浄水場の廃止

栗木作浄水場	浄水能力 2,900m ³ /日
川平浄水場	浄水能力 2,000m ³ /日

ウ 水利権の廃止

仁井田川 (2,937m ³ /日)	: 栗木作浄水場水利権
新 川 (4,800m ³ /日)	: 川平浄水場水利権
好間川 (1,556m ³ /日)	: 上野原浄水場水利権の一部
釜戸川 (2,000m ³ /日)	: 泉浄水場水利権の一部

〈参考〉

水道事業認可一覧

区 分	創 設	専用水道統合	第一期拡張	第二期拡張	第三期拡張
認 可 年 月 日	昭 44. 2. 15	昭 45. 9. 5	昭 47. 3. 29	昭 57. 1. 12	平 4. 3. 31
			昭 52. 11. 26		平 19. 3. 28
認 可 番 号	厚生省環第93号	厚生省環第 599号	厚生省環第 226号	厚生省環第12号	厚生省生衛第417号
			厚生省環第 704号		
目 標 年 次	昭和47年度	昭和47年度	昭和60年度	平成 7 年度	平成18年度
					平成33年度
計 画 給 水 区 域 内 人 口	271,603人	314,000人	364,600人	376,423人	375,091人
					338,631人
計 画 給 水 人 口	277,000人	280,000人	350,000人	374,000人	374,000人
					338,000人
計 画 1 人 1 日 最 大 給 水 量	370ℓ	367.6ℓ	526ℓ	576ℓ	619ℓ
					488ℓ
計 画 1 日 最 大 給 水 量	102,490m ³	102,940m ³	184,000m ³	215,260m ³	231,610m ³
					165,000m ³
起 工 年 月 日	昭 44. 4. 1	昭 45. 4. 1	昭 47. 4. 1	昭 57. 4. 1	平 4. 4. 1
竣 工 年 月 日	昭 47. 3. 31	昭 46. 3. 31	昭 54. 3. 31	平 4. 3. 31	平34. 3. 31 (予定)
			昭 57. 3. 31		
事 業 費	356,121千円	14,917千円	14,388,000千円	13,656,000千円	41,953,045千円 (認可計画事業費)
計 画 給 水 区 域 面 積	343.56km ²	344.06km ²	363.86km ²	366.44km ²	445.80km ²
			364.10km ²		447.96km ²

※第三期拡張 上段は当初認可値
下段は軽微変更届出値

3 水道事業の推移

区 分	22 年 度			21 年 度		
	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
行政区域内人口 (人) A	—	—	339,277	—	—	343,008
給水区域内人口 (人) B	324,890	5,173	330,063	328,372	5,217	333,589
給水人口 (人) C	324,185	4,756	328,941	327,593	4,809	332,402
普及率 (%)	C/A	—	96.95	—	—	96.91
	C/B	99.78	91.94	99.66	99.76	92.18
給水戸数 (戸)	123,303	1,536	124,839	128,148	1,559	129,707
給水件数 (件)	132,611	1,825	134,436	132,119	1,836	133,955
導水管延長 (m)	15,687	1,013	16,700	15,687	986	16,673
送水管延長 (m)	18,673	3,306	21,979	18,673	3,306	21,979
配水管延長 (m)	2,099,089	64,134	2,163,223	2,088,594	64,065	2,152,659
施設能力 (m ³ /日)	208,210	3,135	211,345	208,210	3,135	211,345
年間総配水量 (m ³)	43,061,475	576,459	43,637,934	43,187,611	582,411	43,770,022
1日最大配水量 (m ³)	155,783	2,307	158,090	137,554	1,994	139,371
1日平均配水量 (m ³)	117,977	1,579	119,556	118,322	1,596	119,918
1人1日最大配水量 (ℓ)	481	485	478	420	415	419
1人1日平均配水量 (ℓ)	364	332	363	361	332	361
年間有効水量 (m ³)	39,481,114	501,972	39,983,086	39,246,099	501,668	39,747,767
有効率 (%)	91.69	87.08	91.62	90.87	86.14	90.81
年間有収水量 (m ³)	38,301,820	488,844	38,790,664	38,068,846	489,560	38,558,406
有収率 (%)	88.95	84.80	88.89	88.15	84.06	88.09
給水収益 (千円)	8,343,260	102,545	8,445,805	8,297,859	102,766	8,400,625
総収益 (千円)	8,694,294	237,860	8,932,154	8,667,326	238,381	8,905,707
総費用 (千円)	7,086,563	254,877	7,341,440	6,896,488	260,625	7,157,113
損益 (千円)	1,607,731	△ 17,017	1,590,714	1,770,838	△ 22,244	1,748,594
供給単価 (円)	217.83	209.77	217.73	217.97	209.91	217.87
給水原価 (円)	178.21	521.39	182.53	180.55	532.09	185.01

※ 1日最大配水量は全体での最大日と上水道及び簡易水道それぞれの最大日が異なることがあるため、合計の内数とはならない。

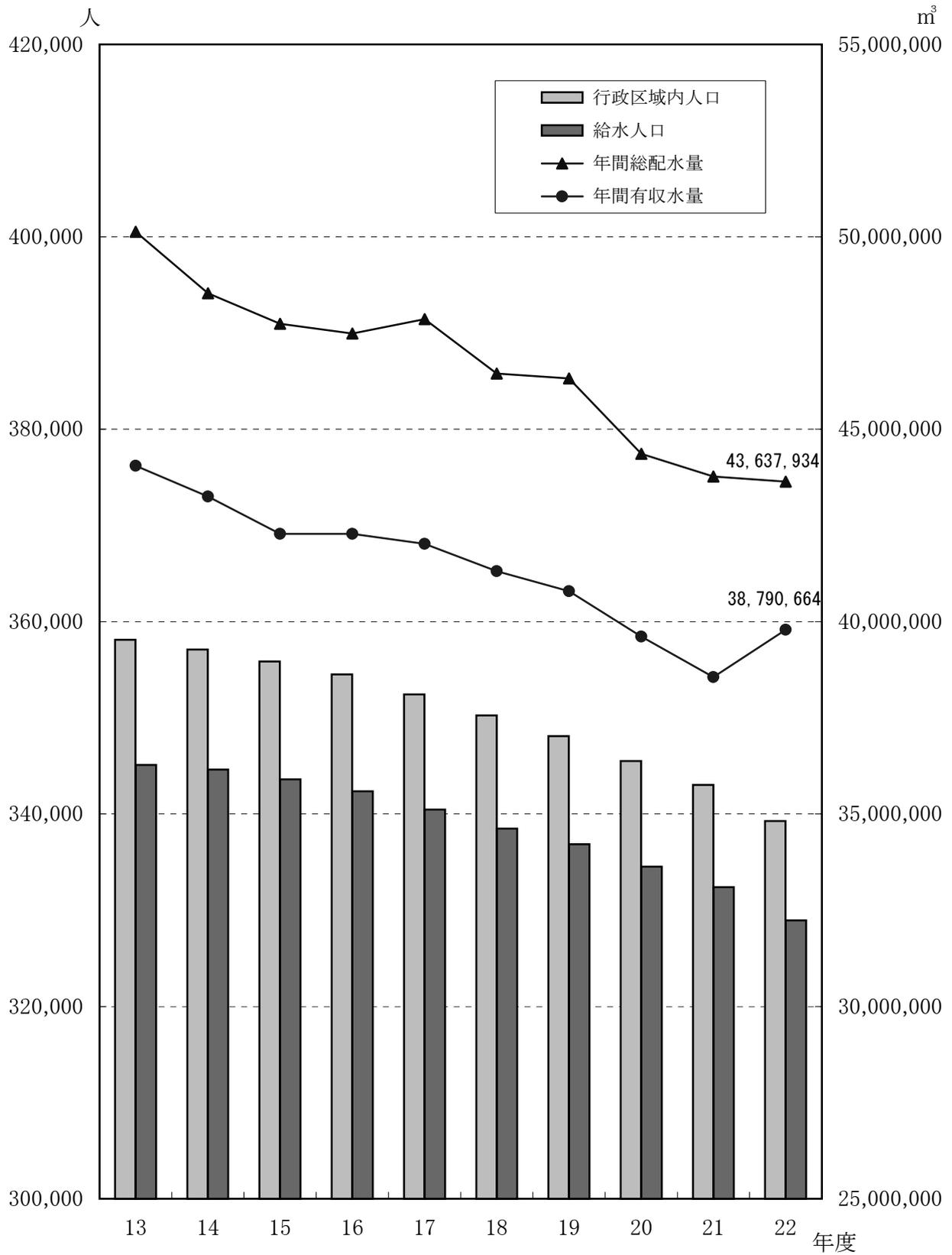
20 年 度			19 年 度			18 年 度		
上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
—	—	345,516	—	—	348,093	—	—	350,235
330,412	5,376	335,788	332,744	5,458	338,202	334,499	5,201	339,700
329,600	4,912	334,512	331,895	4,970	336,865	333,712	4,756	338,468
—	—	96.82	—	—	96.77	—	—	96.64
99.75	91.37	99.62	99.74	91.06	99.60	99.76	91.44	99.64
127,102	1,564	128,666	125,983	1,555	127,538	124,811	1,447	126,258
131,749	1,839	133,588	131,863	1,842	133,705	131,536	1,837	133,373
15,687	1,136	16,823	15,687	1,136	16,823	15,687	1,136	16,823
18,673	3,306	21,979	18,673	3,306	21,979	18,673	3,306	21,979
2,074,309	62,777	2,137,086	2,061,997	63,447	2,125,444	2,049,989	62,719	2,112,708
208,210	3,151.5	211,361.5	208,210	3,151.5	211,361.5	213,110	3,151.5	216,261.5
43,767,963	589,535	44,357,498	45,699,985	616,077	46,316,062	45,823,352	620,411	46,443,763
141,384	1,994	143,331	149,311	2,296	151,384	145,312	2,143	147,121
119,912	1,615	121,527	124,863	1,683	126,546	125,543	1,700	127,243
429	406	428	450	462	449	435	451	435
364	329	363	376	339	376	376	357	376
40,224,862	514,966	40,739,828	41,502,747	527,103	42,029,850	41,892,470	556,598	42,449,068
91.90	87.35	91.84	90.82	85.56	90.75	91.42	89.71	91.40
39,111,715	500,915	39,612,630	40,276,637	515,058	40,791,695	40,766,606	542,084	41,308,690
89.36	84.97	89.30	88.13	83.60	88.07	88.96	87.38	88.94
8,533,298	105,386	8,638,684	8,768,867	108,080	8,876,947	8,061,154	103,752	8,164,906
8,913,296	265,205	9,178,501	9,346,874	287,579	9,634,453	8,566,773	295,846	8,862,619
7,187,444	287,266	7,474,710	7,553,145	308,971	7,862,116	7,695,841	337,672	8,033,513
1,725,852	△ 22,061	1,703,791	1,793,729	△ 21,392	1,772,337	870,932	△ 41,826	829,106
218.18	210.39	218.08	217.72	209.84	217.62	197.74	191.39	197.66
183.27	572.95	188.20	186.41	599.39	191.62	188.22	622.03	193.91

区 分	17 年 度			16 年 度		
	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
行政区域内人口 (人) A	—	—	352,417	—	—	354,520
給水区域内人口 (人) B	336,044	5,696	341,740	337,883	5,839	343,722
給水人口 (人) C	335,202	5,243	340,445	336,985	5,378	342,363
普及率 (%)	C/A	—	96.60	—	—	96.57
	C/B	99.75	92.05	99.62	99.73	92.10
給水戸数 (戸)	123,602	1,585	125,187	124,041	1,592	125,633
給水件数 (件)	130,545	1,848	132,393	130,603	1,872	132,475
導水管延長 (m)	15,786	1,136	16,922	15,687	1,136	16,823
送水管延長 (m)	18,663	3,306	21,969	18,607	3,805	22,412
配水管延長 (m)	2,033,824	64,536	2,098,360	2,028,155	64,777	2,092,932
施設能力 (m ³ /日)	213,110	3,196.5	216,306.5	213,110	3,196.5	216,306.5
年間総配水量 (m ³)	47,185,723	674,046	47,859,769	46,833,016	655,316	47,488,332
1日最大配水量 (m ³)	151,363	2,263	153,626	151,071	2,213	153,142
1日平均配水量 (m ³)	129,276	1,847	131,123	128,310	1,795	130,105
1人1日最大配水量 (ℓ)	452	432	451	448	411	447
1人1日平均配水量 (ℓ)	386	352	385	381	334	380
年間有効水量 (m ³)	42,847,601	575,443	43,423,044	42,846,467	569,161	43,415,628
有効率 (%)	90.81	85.37	90.73	91.49	86.85	91.42
年間有収水量 (m ³)	41,457,737	561,532	42,019,269	41,720,047	557,883	42,277,930
有収率 (%)	87.86	83.31	87.80	89.08	85.13	89.03
給水収益 (千円)	8,183,726	106,955	8,290,681	8,224,669	106,237	8,330,906
総収益 (千円)	8,643,684	295,252	8,938,936	8,854,405	283,543	9,137,948
総費用 (千円)	7,565,298	335,370	7,900,668	7,891,381	318,264	8,209,645
損益 (千円)	1,078,386	△ 40,118	1,038,268	963,024	△ 34,721	928,303
供給単価 (円)	197.40	190.47	197.31	197.14	190.43	197.05
給水原価 (円)	181.85	596.85	187.40	187.63	569.67	192.68

15 年 度			14 年 度			13 年 度		
上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
—	—	355,855	—	—	357,087	—	—	358,101
338,913	5,926	344,839	339,901	5,987	345,888	340,612	6,026	346,638
337,985	5,605	343,590	338,957	5,656	344,613	339,412	5,676	345,088
—	—	96.55	—	—	96.51	—	—	96.37
99.73	94.58	99.64	99.72	94.47	99.63	99.65	94.19	99.55
122,694	1,612	124,306	121,492	1,604	123,096	120,155	1,603	121,758
129,878	1,873	131,751	129,190	1,870	131,060	128,179	1,854	130,033
16,623	1,136	17,759	15,988	923	16,911	15,583	898	16,481
18,138	3,805	21,943	19,718	3,718	23,436	20,244	3,718	23,962
2,001,772	64,657	2,066,429	1,975,007	64,746	2,039,753	1,960,566	64,726	2,025,292
213,110	3,196.5	216,306.5	213,110	3,196.5	216,306.5	213,110	3,196.5	216,306.5
47,108,347	631,186	47,739,533	47,879,599	653,183	48,532,782	49,468,985	658,583	50,127,568
149,581	2,232	151,597	158,537	2,302	160,797	161,619	2,485	163,829
128,711	1,725	130,436	131,177	1,790	132,967	135,531	1,804	137,336
443	398	441	468	407	467	476	438	475
381	308	380	387	316	386	399	318	398
42,900,823	557,878	43,458,701	43,716,494	571,965	44,288,459	44,496,577	571,142	45,067,719
91.07	88.39	91.03	91.31	87.57	91.25	89.95	86.72	89.91
41,732,045	546,447	42,278,492	42,692,325	560,609	43,252,934	43,486,297	559,429	44,045,726
88.59	86.57	88.56	89.17	85.83	89.12	87.91	84.94	87.87
8,228,769	103,903	8,332,672	8,401,447	106,327	8,507,774	8,546,016	105,775	8,651,791
8,802,682	282,678	9,085,360	8,942,089	286,450	9,228,539	9,032,703	298,033	9,330,736
7,984,448	335,756	8,320,204	8,260,139	328,163	8,588,302	8,620,116	347,484	8,967,600
818,234	△ 53,078	765,156	681,950	△ 41,713	640,237	412,587	△ 49,451	363,136
197.18	190.14	197.09	196.79	189.66	196.70	196.52	189.08	196.43
190.38	614.39	195.86	192.91	585.27	198.00	195.23	620.38	200.63

(税抜)

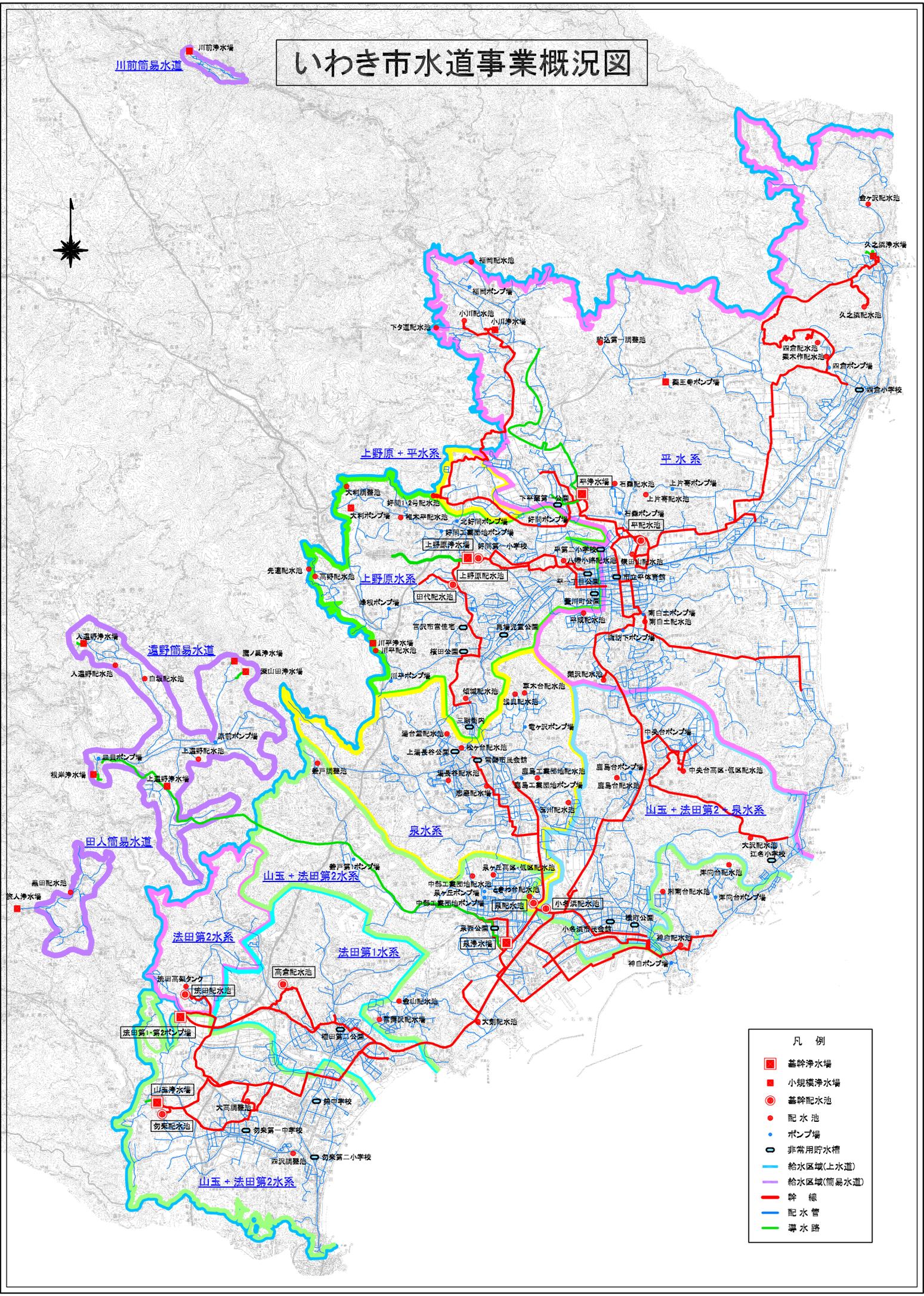
人口及び水量の推移



※ 数値は、上水道及び簡易水道の合計値である。

いわき市水道事業概況図

川前浄水場
川前簡易水道



凡例

■	基準浄水場
■	小規模浄水場
●	基準配水池
●	配水池
●	ポンプ場
○	非常用貯水槽
—	給水区域(上水道)
—	給水区域(簡易水道)
—	幹線
—	配水管
—	導水路